

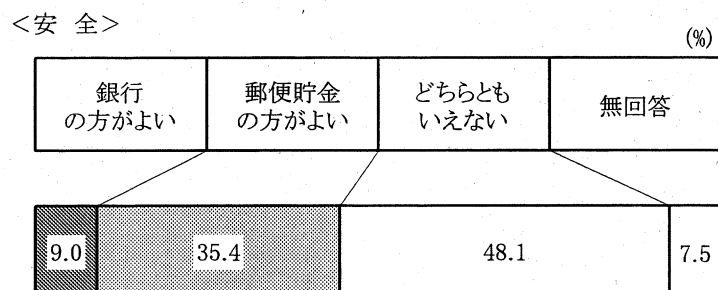
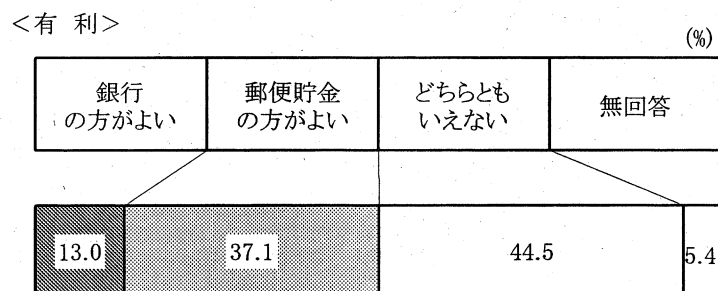
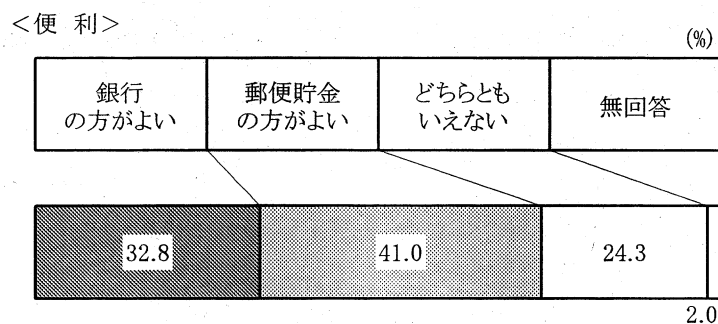
第6章 郵貯民営化について

6.1 銀行と郵貯の比較評価

総じて郵貯の方が評価が高いが、特に「有利」「安全」については郵貯の方が高評価。

- 銀行と郵便貯金を「便利」「有利」「安全」という3つの点で比較したところ、総じて「郵便貯金の方がよい」が「銀行の方がよい」を上回っている。
- 「便利」に関しては「郵便貯金の方がよい」が41.0%に対し、「銀行の方がよい」が32.8%と、差は比較的少ない。
- 一方、「有利」については「郵便貯金の方がよい」が37.1%に対し、「銀行の方がよい」が13.0%となっている。
- また、「安全」については「郵便貯金の方がよい」が35.4%に対し、「銀行の方がよい」が9.0%となっている。

Q あなたは、銀行と郵便貯金を比較した場合、「便利」「有利」「安全」という面で、それぞれどちらが良いと思いますか。



6.2 郵政民営化に対する全国銀行協会の立場への評価

郵便貯金の民営化についての全国銀行協会の主張に同感する人は半数弱。

- 郵便貯金についての全国銀行協会の主張(政府出資が残る間は業務範囲に厳格な制限を設けることが必要である)については、「どちらかといえば同感である」という回答が最も多く、34.8%を占めた。「非常に同感である」は10.7%であり、両者を併せると45.5%が「同感」と回答している。
- 一方、「同感しない」(どちらかといえば同感しない:17.9%+全く同感しない:9.1%)は27.0%、「わからない」は27.5%となっている。

Q 昨年、郵政民営化法が成立し、郵便貯金の民営化などが決まりましたが、この郵便貯金について、全国銀行協会は「政府出資が残る間は業務範囲に厳格な制限を設けることが必要である」と主張していますが、この主張についてあなたはどのように思われますか。

